



目の前が突然、開ける感じの大展望でとても気持ちが良い。特に今日は、眺望が素晴らしく、富士山を中央にして山並みが広がり、遠く南アルプスまで見渡せる。まもなく上り返しの鎖場、手前で巻き気味の側道にさしかかると斜面に赤い垂れ幕が張られていた。どうやらここが G/W 中の転落事故現場の様である。右山側は、手摺り用の固定ロープ(鎖)が張られている岩壁で左谷側は、沢の源頭とも思えるガレ場の谷で、樹木などがまったくない。足元は、木の板が張られている狭い棧道で谷側の縁が少し傾いている事からそこに足を置いてバランスを崩して転落したものらしい。ちょっと見では、とても事故など起きそうな感じがしない場所だがやはり、ヤマでは、油断が許されない。

熊笹の峰へは、笹原の中をブナの大木を縫う様に歩く気持ちの良い道である。しばし静かで新緑のヤマ歩きを楽しみ、神の川分岐にて休憩。ここから犬越路までは、大筭、小筭などを経るが、急傾斜な下りでちょっとスリリングな鎖場などが何ヶ所もあり、全体としては、要注意のルートだ。

魔の時間帯と呼ばれる 14 時丁度に一昨年、TTC でのヒヤリハット事故現場に差し掛かり、事故内容の確認等安全確認を実施しました。前後に急な傾斜が続く途中に平坦な棚の様な短いカーブ道でやはり、転落しそうな感じのしない場所に見える。谷側の縁が少し削れている様で谷側に寄り過ぎてバランスを崩したのだろうか？下山する中で魔の差す時間とも言われているので気が緩んだのかもしれない。安全を再確認し、緊張感を保ちつつ、一同犬越路へ向かう。

下山路は、ミツバツツジなどの花も多く、白い花では、オオカメノキが見事に咲いていて、お目当ては残念であったが、そこそこ楽しませてもらう。稜線上では、時折、眺望が開け、薫風とも言うべきか、爽やかな風が実に心地良い。丹沢主稜線上のこのルートは、難易度が多少、高いが登山の楽しみを十分、味あわせてくれるいいコースである。

気分も上々、犬越路避難小屋に着く。時間に余裕ができたなら、この場で「ファーストエイド」のワンポイントレッスンをしようと三角巾の準備をメンバーにお願いしてあったが余裕が生まれず、割愛させていただいた。ここで最後の休憩をすませ、下山。一気に高度を下げ、用木沢出合に出ると、後はのんびりと西丹沢自然教室まで舗道を歩く。ここで散会としたがここでもバスの増車があり、松田駅までは、全員、座って乗車する事ができました。

<参加メンバー各位>

天候にも恵まれましたがレベル★★★の山行を快適に充実感を持って、無事終了する事ができました。ご協力をいただき、ありがとうございました。

以上